

令和7年度 公開講座 第19回アレルギー疾患セミナー 報告

地域連携部

1 はじめに

「アレルギー疾患セミナー」は、大阪はびきの医療センターと大阪府立羽曳野支援学校の共催で実施している。以下、概要を報告する。

2 第19回アレルギー疾患セミナーの概要

日時 令和7年7月30日(水) 14:00～16:30(受付13:30～)

場所 大阪はびきの医療センター アトピーアレルギーセンター 3階講堂

対象 羽曳野支援学校教員、府内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教員及び教育関係者等

内容

(1) 実践報告「自立活動の実践から」

大阪府立羽曳野支援学校 教諭 村尾千晃

羽曳野支援学校の概要と本校で取り組んでいる業間自立活動の取り組みについて、活動内容、実践の様子、授業で使用する教材、教具の写真も合わせて報告した。

(2) 講演「食物アレルギー・アナフィラキシー対応」

大阪はびきの医療センター アトピーアレルギーセンター 小児科副部長 深澤陽平

「食物アレルギー」の基本的な説明から始まり、食物アレルギーの症状・緊急度の見極めと対応について、写真や絵を交えながらわかりやすく解説があった。また、学校や園での対応の流れについて具体的な説明があり、大変参考になる内容であった。

(3) エピペン実技演習

大阪はびきの医療センター アトピーアレルギーセンター エducーター

羽曳野支援学校の新転任者10名と府内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教員及び教育関係者対象に実施した。6グループに分かれ、各グループにエドゥケーター1名がエピペンの実技演習を行った。柏原羽曳野藤井寺消防本部救急救命士4名によるアドバイスもあり、より実践的な演習となった。

3 アンケート結果報告

羽曳野支援学校以外の教育関係者の参加の申し込みが40名あり、当日は33名の参加だった。事後のアンケートは全参加者対象に実施した。回収率：82%)

※表の数値は人数を表している。

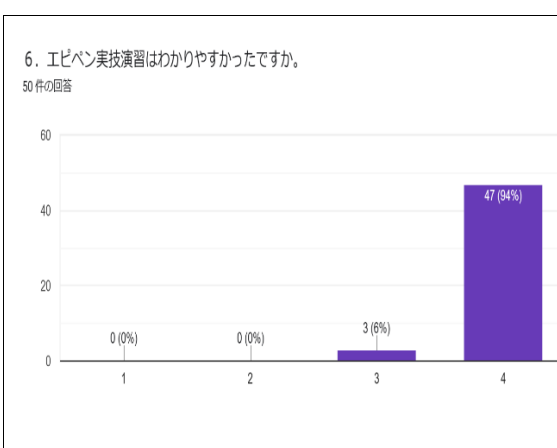
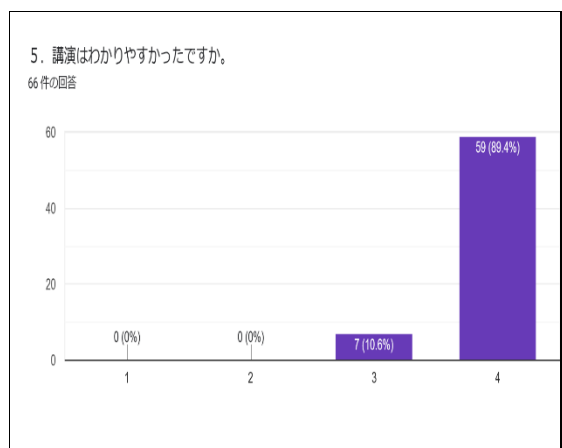
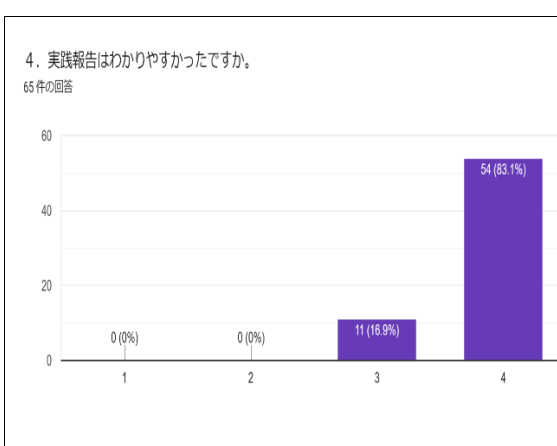
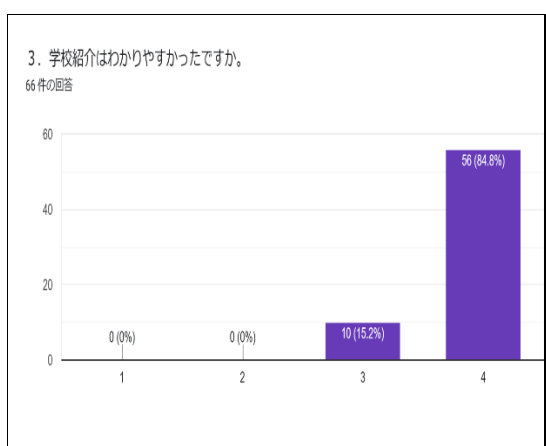
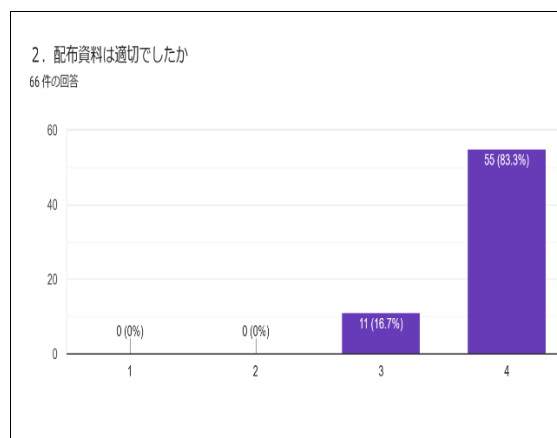
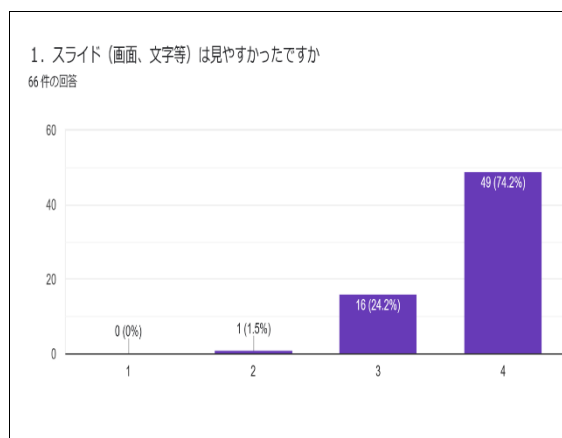
(1) 府内の教育関係者の参加者について

所属	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	合計
	10	18	11	1	0	0	40

職種	管理職	教諭・講師	その他	合計	エピペン参加回数	1回目	2回目	初めて	合計
	0	30	10	40		11	12	17	40

(2) 全参加者対象の事後アンケートの結果

((羽曳野支援学校教員と羽曳野支援学校以外の教育関係者を含む))



4 考察とまとめ

申し込み開始から2日程度で定員に達したことや、申し込みのときに講師への質問など数件あり、講演に対する需要が高いことがうかがえた。事後アンケートの回収率は、82%であり回収率が高かった。事後アンケートの記述式回答では、「食物アレルギーへの理解が深まった」「アレルギーの最新の情報が知れてよかった」などの意見があった。また、エピペンの実技演習においては、「実際にエピペンを打つことができ参考になった」「校内に持ちかえて情報を共有したい」「ペットボトルを使用して針が刺さっている様子がよくわかった」など、肯定的な意見がほとんどであり、良好であった。また、講演終了後の質疑応答や、エピペンの実技演習中も講師やエドューケーターに対して質疑があり、出席者の興味関心が高かった。